



「こっち見るやつは
ツッキーだな……っ♡」

「十鳥の男子に……っ♡」

「和栗のウシ乳見せつけてやれっ♡」

「一生オカズにすんだろ……っ♡」

「ダメ……こんなところ
見られたら……」

「幻滅されちゃう……っ♡」

「フー……」

「グッ」

「グググ……」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

えー

（あの時の……店員さん……!?）

うそ……

（こんな近くにいたなんて……）



人

ムキッ

ゆさッ

ムキッ

ゆさッ

お……♡
和栗い……こんな朝はやくから
精が出るなあ……♡

ん……千鳥でも見てんのか……

っ!? せ……先生……っ
な……何でもありません……

くっ

ん

人た

ん千

ゆさ

ん千

ゆさ

ちよ……つと
破らないで……っ!!

何驚いでんだあ?

いつものスキンシップ……
いいだろ……♡

カーテンは閉めんなよ……♡

あ……あの……

ここ……教室ですから……
せめて別の場所です……っ

まあまあ……♡

ちよつとだけだ……♡
胸もイジつてやるから……♡

ニキキ

フー

ムキ

ゆさ

ムキ

ゆさ

キキ

サ

オラ……っ♡
乳首コリコリしながら……っ♡
和栗の生マ○コ虐めてやるっ♡
たまんねえだろ……♡
外から……見られちゃ
んん……っ!!
千鳥に見られたら
困るのかあ……?



っ!

お……今マ○コ締まったな……♡
図星か……?

（外部の……しかも
異性なんて……

桔梗の教職員に……
ましてや……この先生に
知られるわけには……↓

ま……特待生の和栗が
千鳥に知り合いなんて
いるわけねえか……♡

ヾ

ド

♀+

さか

スル

♀+

ゴリ

♂+

ス

ス



千鳥のヤツらに……
見せつけてやるか……♡

みんな……来ますから……
今は……っ

すぐ終わらせっからよ……♡
ムラついたからマ○貸せっ♡

まっ……て……えっ!!

（慣れない……先生のが……
挿入ってくる……感触……っ）

ズチ……

ズチチチ……



わっ！

お……挿入……ったあ♡

今日もイイ具合じゃねえか♡
何度ハメても飽きねえ……♡

千鳥の野蛮なオス共が♡
背伸びしても手届かない……♡

高嶺の花……♡
桔梗のオンナ抱き放題……♡

ドゥ

ざん

ミッ

わっ

わっ



今こっち見るやつは
ラッキーだな……っ♡

千鳥の男子に……っ♡
和栗のウシ乳見せつけてやれっ♡

一生オカズにすんだろ……っ♡

(ダメ……こんなところ
見られたら……)

幻滅されちゃう……)

ぐん

ぐんぐん……

ぐん

ぐん

ぐん

ぐん

ぐん



ん~~~~っ!?

《今日……いつもより激しいっ!?》
《膣奥に……叩きつけられて……っ!》

はあっ……!?

《あ……え……っ!》

なに……おなか……っ
ずん……って重い……っ♡

お……感じてんな……♡

!?

!?

ダッ

ひた

バッ

バッ

バッ

ひた

いいかあ♡

千鳥の野蛮な男どもにつ♡
キズものにされないためにっ♡

俺たちが……っ♡
責任を持つて……っ♡

抱いてやることだ……っ♡
お前たちを守つてんだぞ……っ♡

(こんなの……気持ちいいわけ……
ない……のに……)

ぐん

ぱん

だん

ん

ぱん

ぱん

!?

!?

ぱん

ぱん

だん





ふうっ♡ふうっ♡

命令だ……っ♡

今からザーメン射精すから……っ♡
俺に合わせて絶頂しろ……っ♡

オスに征服感味わわせて……っ♡
気持ち良〜く射精させろよ……っ♡

いときはイクって言えっ♡

イクぞっ♡

和栗の……イキマ○ンっ♡
ザーメンくれてやるっ♡

ドゥル

グル

ドゥル

ドゥル

ダウッ

イク

ダウッ

ハッ

ハッ

ハッ



孕め……っ♡

い……イきます……っ♡
っグ……っ♡

妊娠適齢期いつ……♡
桔梗の……お嬢様マ○「お……っ♡

ムラついたら呼びつけて……♡
即……膣内射精……っ♡

タダで使える無責任肉オナホ……っ♡
たまんね……えっ♡

ドク



ま……♡
異文化交流も大事が……♡

和栗い……♡
放課後千鳥の前で立ってる……♡
誰かしら声かけてくんたる……♡

千鳥のガキどもに
俺のオンナ見せびらかしてやる……♡

は……はい……

